



なぎそ

議会だより

全員協議会・委員会報告

平成29年5月10日 全員協議会 議会と町の意見交換

(・坂下病院の現状と対応 ・木曽森林管理署南木曽支署仮庁舎について) …… 17P~18P

リニア新幹線対策特別委員会報告 …… 19P

5月1日以降の 坂下病院の 現状と対応

報告

◇5月1日以降の坂下病院診療等の状況
診療関係では、眼科はほぼ現状、整形の手術は順次市民病院へ。入院関係は、8月以降3階は止めて4階の50床を活用します。

◇町では「地域医療検討チーム(総務課、もつと元気に戦略室、住民課などの職員で構成)」で協議を始めています。

まず、町民の要望や通院などの実態を把握するため、住民の医療受診状況のアンケートを実施します。

◇中津川市5月の広報誌の記事、「中津川市民病院、坂下病院の現状と今後No.10」で、坂下病院に関し、医師の派遣や増員の要請、民間の医師の仲介会社と契約して常勤医師の負

担軽減に努めていることなどが記されています。

質疑の内容

●診療科・委託事業について

Q 小学生、中学生の健診を委託しているが今後はどうするか。

A 今年は今まで通りですが、来年度以降については、これから検討という状況です。

Q 人間ドックや健診なども含めて来年以降は未定となっているが、いつはつきりするのか。

A 坂下病院からは、常に予定が変わり見通しが分からない状況という返事でした。

Q 中津川市では、かかりつけ医を通じて市民病院へという説明をしているが、坂下病院利用者もそうなのか、町で把握して住民に知らせるは。

A 今までは一次医療も二次医療も坂下病院にお願していました。市民病院としては、一次医療はかかりつけ医にかかり、二次医療は市民病院が受け入れる考えですが、坂下病院がかかりつけであれば受け付けるとのことです。

●緊急対応について

Q かかりつけ医がいたとしても時間外は診てもらえないことが多いが対応は。

A かかりつけ医に診てもらえない場合、救急車を呼んでもらうことが確かな方法だと思われれます。

Q 症状が軽い場合も救急車を呼ぶことがあり、救急車が大変にならないか。

A 坂下病院では、症状を病院へ連絡してもらい、受け入れできる場合は受け付け、できない場合、他を紹介し

ます。

●改革プランへの対応
Q 3月に出された中津川市の「改革プラン」に対し、町は具体的な対策、対応を考えているか。

A その都度情報を確認していますが、当面は救急医療の負担金をどうするかについて折衝中です。

今後のスケジュール等が示されたところで、町から具体的な問いかけなどをしながら詰めていきます。

防災へり、緊急へりポート、ドクターカーなどについても研究しています。

Q 5月1日時点の体制は、平成30年で終わるのか。

A 市の方針では改革プランにのっとって、市民病院へ徐々に集約されていくことになり
現在は平成30年度ま

での予定が出されてい
ますが、状況により変
わることもあり、現状
が必ずしもそのまま続
くとは言いきれません。

Q 町の医療をどうし
ていくか、木曽病院と
の関係、医療費抑制、
介護施設の運営など、
様々な問題があり深刻
な事態だ。

A 坂下病院を復活させ
ることを中津川市に働
きかけていくなど、必
要ではないか。

A 市は改革プランに
したがって進めていくこ
とになります。その
中でも坂下病院の患者
が減り収益が落ちること
により悪い流れに進
んでしまうことが危惧
されます。

市では、指定管理や
民営委託する可能性は
あるとされていますが
厳しい状況のように思
われます。

木曽病院や地元医師
との連携を深める中で、
坂下病院の機能縮小に
ついて、できる限り影

響が少なくなるような
面にも目を向けたいと
思います。

**●実態調査アンケート
について**

Q アンケートの配布
や回収はいつ頃か。
A アンケートは郵
便ではなく区長が集め
るなどし、回収率を良
くする方法でお願いし
たいが。

A 6月議会で案を示
し、その後アンケート
を配布します。
回収率が良くなる方
法を検討しています。

Q アンケートは全員
が回答できるような方
法になるか。

A 世帯に一枚でなく、
複数人居る場合は全員
が回答できるように仕
様にしたいと思えます。

Q 子どもが急に熱を
出したときの状況など
も把握できるような欄
も必要ではないか。

A 選択項目がない場
合、その他欄に記入で
きるようにします。

Q 簡易で回収しやす
いアンケートに。また、
自由意見の欄を。

A 選択式も含め、誰
もが簡易に答えられる
ようにし、自由意見欄
も入れるように考えて
みます。

Q 町には医療、介護
の計画、基本的な計画
書がいくつもあがるが、
自分たちの医療を守る
ため、町の医療計画に
結びつくような項目も
必要ではないか。

A 坂下病院は当面、
機能縮小の方向である
ことは間違いありませ
んが、具体的なことに
ついてはアンケートで
実態を把握しながら考
えます。

今回は、実態を把握
することに重点を置い
たアンケートにしたい
と思えます。

Q 市の改革プランに
は坂下病院の具体的な
スケジュール表が出て
いるが、住民にどうい
う情報を出すのか。
アンケートが坂下病
院の状況を誤って伝え
ることのないように、
現状や計画ではこうな
るとい資料が必要で
は。

A 住民には広報誌等
で坂下病院の現状をお
知らせしており、一定
の理解がされているこ
とを前提としたアン
ケートになります。が、
不十分であれば改めて
資料など情報を示した
いと思えます。

**木曽森林管理署
南木曽支署仮庁
舎について**

報告
木曽森林管理署南木
曽支署から、現在の庁
舎を今年度から建て替
えるため、町の施設を

仮庁舎として使用
したいとの要請が
ありました。

田立の社会教育
施設(旧田立小学
校)を使用するこ
とも考えましたが、
ネット環境が整っ
ていないことなど
を考慮した結果、
旧蘭小学校を使用
する方向で検討し
ています。

管理署は仮庁舎
へ9月頃引っ越し
をし、現在の庁舎の取
壊しに入り、2年後に
は完成予定です。

なお、旧蘭小学校施
設の利活用については、
通信制高校としての活
用を希望する学校法人
との協議が始まってい
ましたが、計画実施時
期の変更等の理解を得
ており、引き続き協議
していく予定です。

質疑の内容
**●田立の社会教育施設
のネット環境は**
A 森林管理署は光
ケーブルを使っていま



現在の中部森林管理署南木曽支署 (読書和合)

すが、NTTへ確認し
たところ田立地域には
光ケーブルを入れる計
画がないとのことでした。

**●安全な場所への建設
を考えるべきでは**

A 大沢田川の防災に
ついては国交省と一緒
に考えていきます。

**●旧蘭小学校の使用料
は従前の例と同じか**

A 公共団体の仮庁舎
であることや、従前の
例などを参考に検討し
た上で決めたいと思
います。

リニア新幹線対策特別委員会報告

町営簡易水道の水源地を視察

5月10日午後、全議員で構成されるリニア特別委員会は役場の担当者の案内で、リニア新幹線トンネル掘削工事による影響（減水、濁水、水質などの問題）が予想される町営簡易水道の水源地3ヶ所（大山蘭高区水源、大山蘭向ヶ原水源、妻籠第一・第二水源）の位置関係や周辺の地形などを視察しました。

これらの水源の計画取水量は、町全体の計画取水量の30%近くで、供給範囲は蘭、妻籠や三留野の一部まで含まれます。

水源の水量、水質の確保を恒久的に維持することや、水枯れなど起きた際の対応と代替措置など、JR東海との協定書の締結を工事着工前に進めることが必要であるという確認をしました。

なお、妻籠水源については長野県水源環境保全条例に基づく保全地区のため、JR東海はこの区域内でのトンネル掘削について県知事に事前協議書を提出しています。4月から県の環境審議会で検討が始まっていて、町にも事前協議への意見が求められています。



↑ 大山蘭高区水源付近。

- ・中の沢の流水状況。
- ・リニアトンネルによる水資源への影響の予想範囲に含まれています。

← 向ヶ原水源付近の貝の沢の砂防堰堤。

- ・この沢には魚が住んでいるというほどの水量。
- ・リニアのトンネルはこの付近の真下を通過する計画。

← 妻籠第1水源は伏流水。

- ・リニアトンネルは上流域で水源の高さより低い位置を通過します。
- ・写真の右下に男タル川が流れています。